

チャレンジできる環境

Proactive Professional Productive

制御技術で
カーエレクトロニクスを
リードする

トップメッセージ

ECU専業メーカーとして、センシング&コントロール技術で市場をリードし
クルマ社会における人とクルマのベストマッチングを実現する、これが私達の使命です。

社会が便利になり、ますますクルマが人にとって欠かせないものとなる中で、もっと環境にやさしい、もっと快適で便利な、そして安全で、安心できる車へのニーズは高まっています。加えて、コネクティッド、自動運転、シェアード、電動化など、カーエレクトロニクスにおいては新たな技術が急速に発展する中で、私たちが取り組むECUの市場は今後ますます成長していくものと考えております。

私たちは、1983年に立石電機株式会社（現在のオムロン株式会社）の車載電装事業部として発足して以来、カーエレクトロニクス事業における様々な技術を確立するとともに、お客様のニーズを満たす商品を創出し続けてきました。今ではグローバルで事業を展開し、営業、生産、開発におけるグローバルネットワークを通じて、世界中のお客様との信頼関係を構築し、事業を通じてソーシャルニーズを創造し続けています。

そして、2019年11月にはさらなる価値を創造するため、数々のモーター製品で世界シェアNo.1を誇るニデックグループのもと新たなスタートを迎えました。これまで培ってきた経験と実績をベースに、ニデックの保有する幅広い技術・製品と私達の得意とする車載用電子制御ユニットの強みを組み合わせ、クルマ社会の新たな進化、新たな価値づくりに向けて、今後もチャレンジをし続けてまいります。



代表取締役社長執行役員
和田 克弘

会社概要

会社名	ニデックモビリティ株式会社
事業内容	車載電装部品のマーケティング・開発・生産・販売
設立	2010年5月6日
資本金	50億
代表取締役社長執行役員	和田 克弘
本社	愛知県小牧市大草年上坂6368



ニデックモビリティ株式会社本社

ミッション

クルマ社会の未来を見据え、
「ものづくり力」を進化させ続けて、
人とクルマのベストマッチングに貢献します。

製品

安心・安全

快適・便利

環境・省エネ

EPS



電動パワーステアリング
ECU

電源



DC/DCコンバーター

二輪



インバーター



アンサーバック
システム

統合システム



多機能コントローラーシステム

ドア



テールゲート
ECU



ドアECU



パワーウィンドウ
スイッチ



スマートスタート
システム

シート



メモリーシート
ECU



シートスイッチ



シナジー



Nidecグループ商品
EOP/EWP



コントロール
基板



世界・日本初！

日本初のキーレスエントリーシステムを製品化。量販車に標準搭載された。



日本初／1985年
キーレスエントリーシステム

重要保安部品である電動パワーステアリングの電動化にチャレンジ。
世界初と同時期に製品化。



世界初／1988年
電動パワーステアリングECU

日本初のモジュール式や挟み込み検知付パワーウィンドウスイッチなど、新技術を多数開発。



日本初／1988年
パワーウィンドウスイッチ

バイク向け製品も多数開発。
世界初の電動クラッチコントローラーを製品化。発進、変速、停止などのクラッチ操作を自動で行う。



世界初／2024年
電動クラッチコントローラー

成長の軌跡

すべてのはじまり

1975年

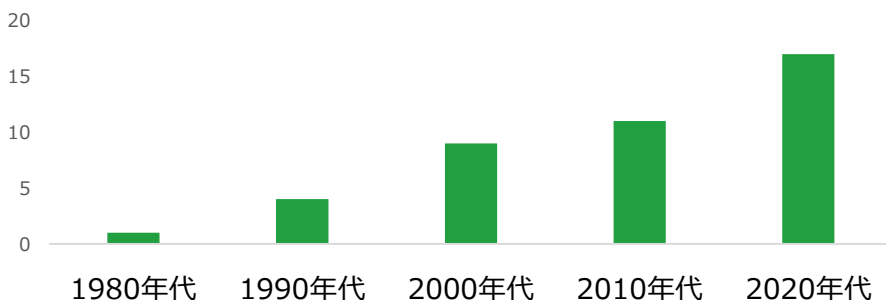
車載電装プロジェクトとして発足

原点

私たちの物語は、立石電気株式会社（現 オムロン株式会社）内での一つの挑戦から始まりました。この年に発足した車載電装プロジェクトが、今日のニデックモビリティの礎となっています。

グローバル展開の加速

1983年の事業開始以来、私たちは積極的に世界へと拠点を広げてきました。現在は北米・アジア・欧州を中心に海外に17拠点展開しています。



主なマイルストーン

事業の拡大と共に、私たちの組織も進化を遂げてきました。オムロングループから分社、そしてニデックグループへの参画は、私たちの歴史における重要な転換点です。

2010年

オムロン株式会社より分社

オムロンオートモーティブエレクトロニクス株式会社を設立。専門性を高め、新たなステージへ。

2014年

オムロン飯田を吸収合併

生産体制を強化し、事業基盤をさらに強固なものにしました。

2019年

日本電産グループへ

日本電産グループの一員となり、社名を日本電産モビリティ株式会社に変更。シナジーを創出します。

2023年

ニデックモビリティ株式会社へ社名変更

グループブランドの統一に伴い、現在の社名へと変更しました。

私たちの進化は止まりません

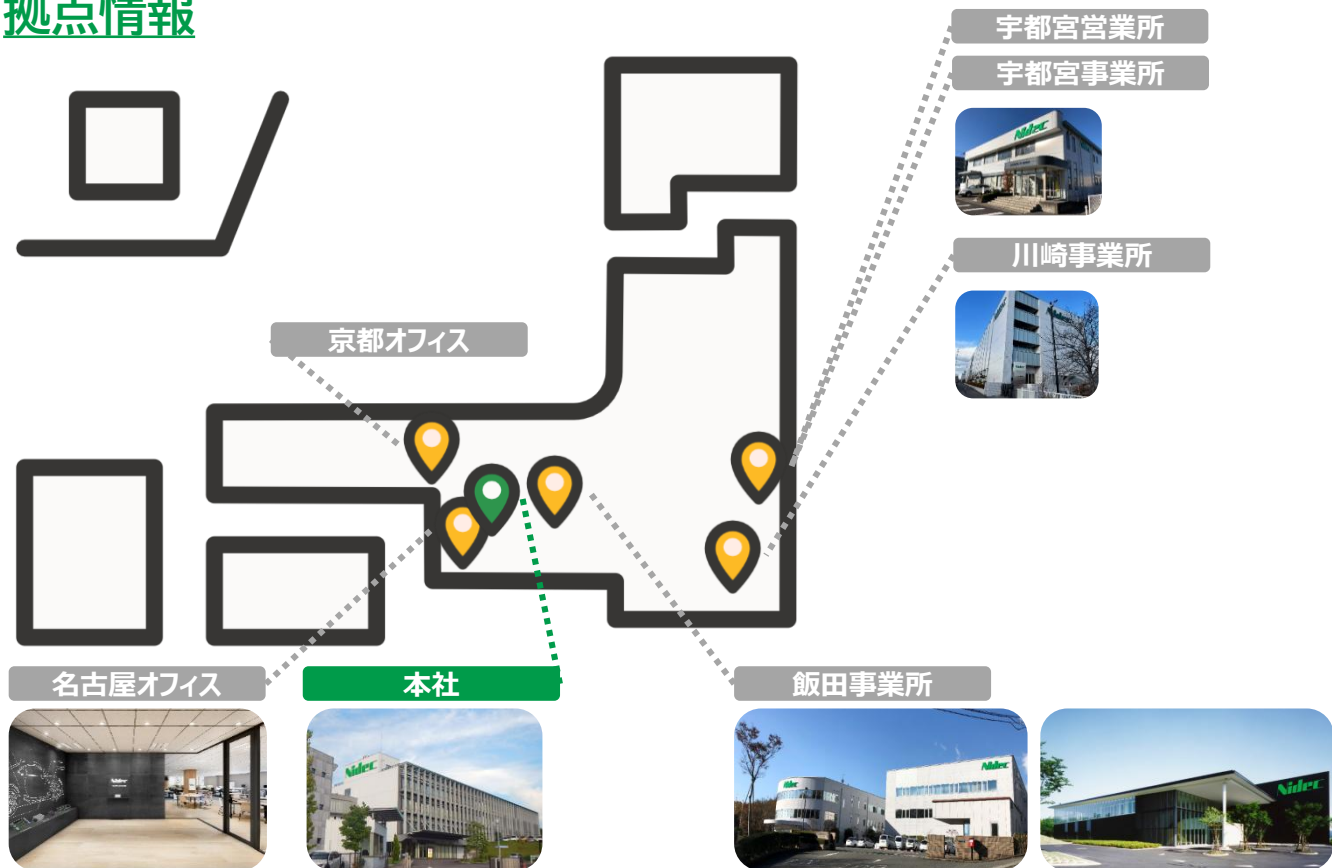
2025年

ニデックエレシス株式会社吸収合併

未来へ

製品ポートフォリオを拡充し、次世代モビリティ社会の実現に向けたソリューション提供をさらに加速させていきます。

拠点情報



国内拠点名

ニデックモビリティ株式会社 本社
 ニデックモビリティ株式会社 飯田事業所
 ニデックモビリティ株式会社 宇都宮営業所
 ニデックモビリティ株式会社 川崎事業所
 ニデックモビリティ株式会社 宇都宮事業所
 ニデックモビリティ株式会社 京都オフィス
 ニデックモビリティ株式会社 名古屋オフィス

海外拠点名

ニデックモビリティ（アメリカ）株式会社
 ニデックモビリティ（カナダ）株式会社
 ニデックモビリティ（メキシコ）合同会社
 ニデックモビリティ（ブラジル）有限会社
 ニデックモビリティ（ドイツ）有限会社
 ニデックモビリティ（タイ）株式会社
 ニデックモビリティ（インド）株式会社
 ニデックモビリティ（韓国）株式会社
 ニデックモビリティ（広州）有限公司
 ニデックモビリティ（大連）有限公司
 ニデックモビリティ（ベトナム）会社
 ニデックモビリティ（インドネシア）株式会社
 ニデックエレスス電子（中山）有限公司
 タイニデックエレスス株式会社
 ニデックエレススヨーロッパ有限会社
 ニデックエレススアメリカズコーポレーション

DATA データで知るニデックモビリティ



車載事業プロジェクトチーム発足

1975年

創業者の「より安全なクルマを作ろう」その一言からプロジェクトが発足しました。



売上高

1,382億円

2028年度までに売上高2500億円を目指しています。2024年度は2年連続の最高売上高更新となりました。



連結従業員数

4,366名

世界中どこでも同じ設計・品質で新しい価値を創造していくことを目指しています。



海外売上比率

83%

国内と海外拠点が連携しスピーディかつ高い品質を提供しています。



グローバル拠点

13カ国

13カ国に拠点をもち現地で顧客に密着して事業を展開しています。



独立系

10社以上の顧客

どのメーカーの系列にも属さない独立系部品メーカーだからこそ世界中のクルマ・バイクに貢献できます。

社員数

864名

男女比

7:3

平均年齢

41.9歳

平均勤続年数

17.9歳

平均所定外労働時間

18時間/月

平均有給休暇取得日数

17日/年

育児休業取得者数

女性28名/28名
男性4名/15名

求める人物像

3P人財

ニデックグループでは、高い目標を達成するために、実力・実績主義の徹底による強い会社づくりに取り組んでいます。ニデックモビリティでは、3つのPを発揮いただける方や同じ価値観を持って一緒に活動できる方を求めています。

Proactive 自ら目標を掲げ、決して諦めずできるまでやり抜く

Professional 自らの強みを進化させ続け、結果に繋げる

Productive アウトプット／インプットを意識し、チームの成果を最大化する

3P人財はこんな人！

採用を担当しているコーポレートマネジメント部長に
3P人財の具体的なイメージを聞きました。



社員・チームのチャレンジと成長が当社の競争力を高め、事業を成長させます。ニデックモビリティは「3つのP」を実践する人財が活躍できる舞台を作ります。モビリティ社会の課題を私たちと一緒に解決いただける方、課題解決にチャレンジいただける方の参画を期待します。



コーポレートマネジメント部長
有澤 暢敏

仕事紹介



営業職は当社の製品やシステムの魅力をお客様（完成車メーカー・Tier1）に伝える活動はもちろんのこと、お客様やユーザーのニーズを吸い上げ、競争を超える戦略を提案し、目標達成に向けて開発部門・品質部門・生産部門などの関係部署をまとめる役割も担っています。自動車業界のマーケットは中国・米国・欧州を中心に世界中に広がっています。各国のトレンドや困りごとをいち早く察知するために、世界中の営業スタッフが日々連携しています。

設計・開発職は車載電装部品の回路設計、ソフトウェア設計、機構・構造設計を行います。どの自動車メーカー・バイクメーカーの系列にも属さない独立系部品メーカーのため、世界中のクルマ・バイクに貢献することができます。機械、電気・電子、情報の分野の技術者が集まって設計を進めるため、幅広い知識が身につくのも特徴です。



品質保証職は品質向上のための方針や仕組みづくり等の企画立案から開発部門や生産部門と共に品質の作り込みを行ったり、サプライヤー品質の強化を行います。またグローバルで高い品質を実現するために海外拠点のサポートも行っています。そのため、若手のうちから海外出張・赴任の機会が多くあります。

生産技術職は製品を量産するための生産ライン・システムの設計・開発を行います。お客様にローコストかつ高品質の製品を届けるため、日々新しい取り組みを行っています。現在はロボットアーム等を活用した省人化のプロジェクトを推進しています。また、マザー工場として海外拠点のサポートも重要な役割の一つです。そのため、若手のうちから海外出張・赴任の機会が多くあります。



生産管理職は生産現場の司令塔です。サプライチェーン全体を俯瞰し、サプライヤー・製造現場・お客様をつなぐ役割を担いながら、生産活動が円滑に進むよう品質・コスト・納期を管理します。ジャストインタイムの生産計画を立案することで、事業収益の最適化に貢献することができます。また、社内の関係部署のみならず、社外の人ともコミュニケーションをとる機会が多くあります。

営業職

- A1 (良い意味で大企業すぎないため) 裁量権が大きく、若手のうちから様々なことに挑戦できそうだと感じました。
- A2 社長・役員と社員が分け隔てなくコミュニケーションするところです。
- A3 営業は個人プレーヤーだと思っていましたが、実際は生産・開発と密に関わるため、チームプレーが重要でした。
- A4 お客様と意見交換した内容を社内に持ち帰ると色々な部署が真剣に考えてくれます。営業の一言が次の事業に繋がる可能性があります。



ニデック
モビリティ社員に
インタビューしました。

設計・開発職

- A1 先輩社員と話す機会があり、制御のスペシャリストがいて面白そう、この先輩の下で制御について勉強したいと思いました。
- A2 小さなことからコツコツと。日々の積み重ねを大切にしている人が多いです。
- A3 大学の研究室にはなかった、製品を設計・開発するための設備が充実していて感動しました。
- A4 段々知識が身についてきて、できることが増えてきました。自分が設計した制御パラメーターで製品の価値を高められるところが面白いです。



設計・開発職

- A1 複数の技術領域を経験でき、マルチスキルエンジニアを目指すことができると思ったからです。
- A2 決めたことをやり遂げる責任感が強い人が多いです。(普段は優しいです。)
- A3 ギャップはありません。
- A4 トрендであるワイヤレス系の製品を担当していて、仕事を通じて社会に貢献しているという実感があります。



Q4 Q3 Q2 Q1
入社を決めたポイントは？
ニデックモビリティっぽさは？
入社前と入社後のギャップは？
今の仕事の面白いところは？

設計・開発職

- A1** 前職では技術営業のような仕事を担当していましたが、“設計・開発”がやりたいと思ったからです。
- A2** 自動車業界で求められる高い品質を実現するため、明確な意思をもって設計・開発しているところです。
- A3** みんなキッチリしているところです。加えて分け隔てなく意見を交換しているところに最初は驚きました。
- A4** 小型化が求められる中で出力は大きくという相反する課題を自分で考えて実現できるところです。



品質保証職

- A1** 学校の先生から実力主義だと聞いたからです。
- A2** ファミリー感があります。上司にも自分の意見を伝え易い環境です。
- A3** “もの”を作るのは設計・開発だと思っていましたが、実際には品質保証に関わる場面が多く、ものづくりに関わっていると感じられるところです。
- A4** 品質保証の観点から製品の価値を高められるところです。



生産技術職

- A1** 実際にものが作られているところを見たい、ものづくりの全体を把握したいと思ったからです。
- A2** 自部署・他部署に関わらず、困っていたら誰かが助けしてくれるところです。
- A3** 覚悟はしていましたが、想像以上に忙しいです。一方で先輩が気遣ってくれるので自分の仕事が終わったら帰りやすいです。
- A4** 自分の裁量で仕事ができます。また工程設計は担当した人の個性が出ます。仕事の中で自分の拘りを実現できるところが面白いです。



ニデック
モビリティ社員に
インタビューしました。

Q4 Q3 Q2 Q1
入社を決めたポイントは？
ニデックモビリティっぽさは？
入社前と入社後のギャップは？
今の仕事の面白いところは？

生産技術職

- A1** 会社に工場があり、ものづくりの一連の流れが経験できると思ったからです。
- A2** 仕事に一生懸命です。役職・年齢に関わらず責任感が強い人が多いです。
- A3** 自分が担当する部分だけ黙々とやればよいと思っていましたが、実際は関係者と密に連携して仕事を進めることが多いです。
- A4** 自分が設計した設備が動き、実際に製品を作っている姿を目の前で見ることができることです。



社内SE

- A1** 選考時に忘れ物をしてしまったのですが、面接を実施し、人物で評価してくれたからです。
- A2** ここぞというときの団結力や課題に直面した時の愚直さです。
- A3** 前線で活躍している女性社員が多いことに驚きました。文系出身ですが、ITの側面からものづくりに関わることができたことも意外でした。
- A4** 様々な部署の人と関わり、社員の困りごとの解決に携わることができることです。



ニデック
モビリティ社員に
インタビューしました。

Q4 Q3 Q2 Q1
入社を決めたポイントは？
ニデックモビリティっぽさは？
入社前と入社後のギャップは？
今の仕事の面白いところは？

ニデックモビリティ株式会社



会社員=歯車の一つだと思っていたが、主体的に行動することが求められる

●設計・開発



チームワークを大切にしているところ

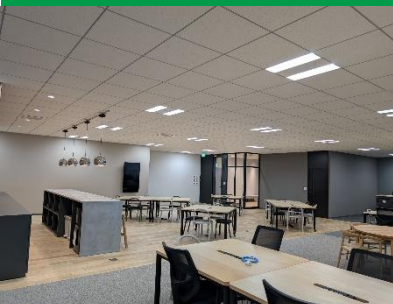
●設計・開発

ニデックモビリティの ホンネ

思っていた会社と違う！と感じたことを
教えてもらいました。

思っていたより大変だけど、思っていたより楽しい！

●営業



当たり前だと思っていることを実現することの難しさ

●設計・開発



家族を大切にしている人が多い

●設計・開発

気さくな人が多く、コミュニケーションが活発

●設計・開発



既存のやり方にとらわれず、より良いやり方を提案すると受け入れてくれる

●品質保証



クルマの機能はクルマメーカーがつくっていると思っていたが、意外と部品メーカーが考えてつくっている部分が多い

●設計・開発



仕事の幅が広い

●設計・開発

品質・コストに対する強い拘り

●生産技術



個性が強い人が多い

●設計・開発



ニデックモビリティはSDGsを支援しています

ニデックモビリティは車両の燃費向上や、EV等の環境対応車の部品を創出・提供することで、車両走行時に発生するCO2排出量を削減し、地球温暖化防止に貢献することはもちろんのこと、CO2を出さない自然エネルギー由来の電力活用を推進しています。

ニデックモビリティのブラジル拠点は水力発電による電力のみを購入し、100%再生可能エネルギーを使用しています。日本と中国の拠点では、太陽光自家発電設備を導入し、使用電力の一部をグリーン化しています。2021年度時点、当社グループの再生可能エネルギー導入率は、約6.3%となりました。

現在は、購入電力をCO2排出係数の低い電力へ切り替える検討や、PPA*モデルを活用した再生可能エネルギーの導入検討を行っており、地球環境にやさしいエネルギーの積極的利用に向け取り組んでいます。

*Power Purchase Agreement

電力購入契約。企業・自治体が保有する施設の屋根や遊休地を事業者が借り、無償で再生可能エネルギーの発電設備を設置し、発電した電気を企業・自治体が施設で使うことで、電気料金とCO2排出の削減ができる



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



リクルートメッセージ

ニデックモビリティのミッションはクルマ社会の未来を見据え、
「ものづくり力」を進化させ続けて、人とクルマのベストマッチングに貢献することです。
「社会により良い製品を届けたい」、「そのために自らの強みを高めたい」
という高い志を持つ方を募集します。

新卒採用にご興味がある方

マイナビにてエントリー受付中です。
新卒採用の募集要項についてはマイナビにてご確認ください。

 **マイナビ 2027**

マイナビでエントリー受付中

 **マイナビ 2026**

マイナビでエントリー受付中

経験者採用にご興味がある方

当社採用担当者宛に直接ご連絡ください。
経験者採用の募集要項については当社Webサイトにてご確認ください。

問合せ先

ニデックモビリティ株式会社
コーポレートマネジメント部 人事グループ 採用担当係
住所 485-0802 愛知県小牧市大草年上坂6368
EMAIL mobility-j.saiyo@nidec.com



ホームページ



YouTube